

(資料6)

評価項目	6 研究開発に関すること
当センターの状況 (概要)	<p>研究課題のマネジメントの実施状況は、4月に計画書、9月と2月に進捗管理票の提出を義務付けている。今年度は外部研究評価の実施がスケジュールより遅れたが、概ね年間計画どおりに進行している。</p> <p>研究課題検討のための組織については、外部研究評価があり、県庁内部の組織として研究企画調整会議を実施し、研究課題等について検討を行っている。センター内部では、マネジメント計画にしたがって研究課題検討を行っているほか、内部組織としては、試験研究機器整備検討委員会及びI-RIEP普及啓発活動プロジェクトチームがある。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A 適当(3人)・B 要改善(2人)・C 不適当(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 研究課題のマネジメント(研究課題設定方法、進行管理、研究評価)の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充分です。逆に厳密すぎるのでは。研究ですのである程度の「ゆとり」が必要です。 ・スケジュール化されており十分です。当委員会にI-RIEP 企画運営会議で議論されたことが説明されればなお良いです。 ・研究課題のマネジメントは適切になされている。 ・研究課題設定方法について十分明確でない。 ・年度目標、年度結果、次年度計画という3段階構えで研究の区切りをつけることが必要
センターの対応方針	<p>研究課題のマネジメントについては、今後とも研究推進実施要領に基づいた進捗管理を実施していきます。</p> <p>研究課題の設定にあたっては、①研究の目的・背景(重要性、緊急性、ニーズ)、②県施策との整合性、③研究の新規性・独創性、④期待される成果その実現可能性について、所内でヒアリング等により検討を行って設定しています。</p> <p>研究課題の進捗管理にあたっては、全ての研究において、年度当初の所内ヒアリングで、前年度までの結果、当年度目標及び次年度以降の計画について検討を行うほか、3か年以上の研究にあっては外部評価委員による事前評価と事後評価、さらに4か年以上の研究にあっては中間評価を行っています。</p> <p>これら研究課題の設定方法や進捗管理の体系をわかりやすく整理していきます。</p>